

製本講習会テキスト 4

2005.5
2011.12 改定

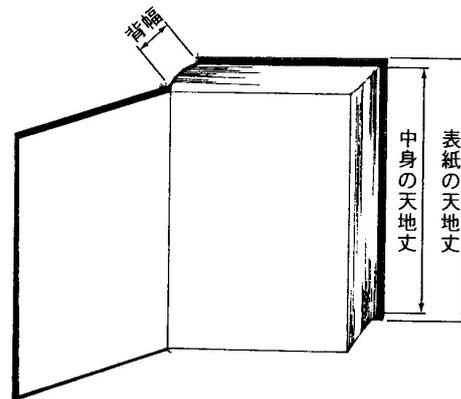
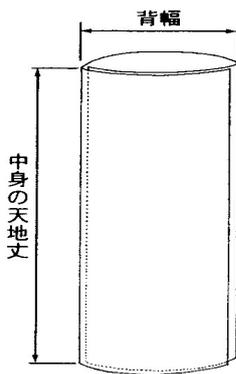
＜背の取れた本の修理＞(つなぎ表紙)

ハードカバーの資料で、溝の部分が切れかかっていたり、中身はしっかりしているのに、背の部分が取れてしまったりしているものがある。ここでは、元の背を生かして、新しく背を作る補修方法を紹介する。元の背を生かすため、書架に並んだ印象が変わらない。

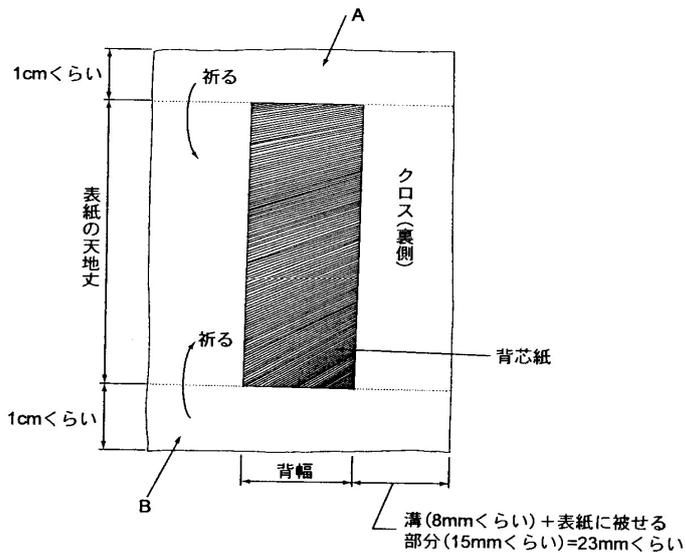
なお、使用する糊は濃い目の混合糊である。

【概略】

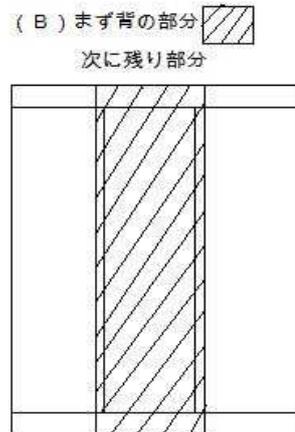
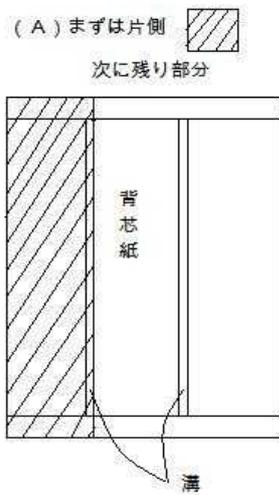
- ①表紙の背を取り外して、中身の背をきれいにする。花布も付けておく。
- ②クータを作り、中身の背に貼る。



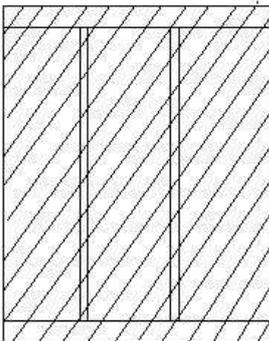
- ③新しい背を作る。



- ④新しい背を本体に被せてつなぐ。
クータを使う場合の、3種類のつなぎ方を紹介する。



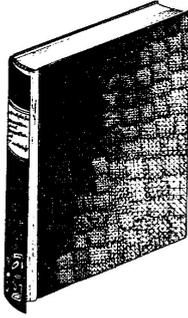
(C) 前面に糊付け



- ⑤元の背を薄く剥がして、新しい背に貼る。

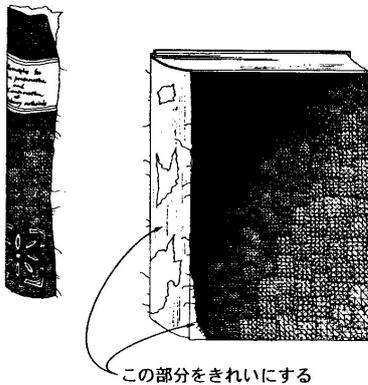
【詳細】

参考・出典 『防ぐ技術・治す技術－紙資料保存マニュアル』（日本図書館協会刊）



①背を取り外す。

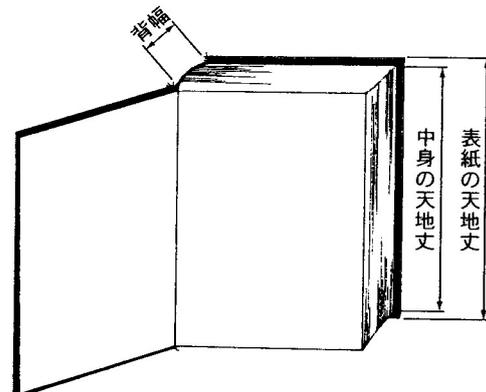
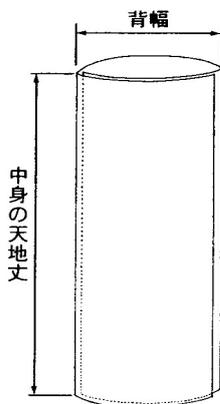
背が取れかかっているものは、カッターナイフやハサミを使って、溝の部分で表紙と切り離す。中身の背の部分で、剥がれかかっているところは取り除いてしまうか、きれいに糊付けしておく。花布もきちんと付けておく。



②クータを作り、中身の背に貼る。

クータは中性紙で作る下図のような筒を平らにしたものである。背幅の3倍の紙を三つ折りにして、重なる部分を貼り合わせて作る。

クータを付けると背が丈夫になるので、ここでは、クータを付ける方法を紹介します。クータを付けない場合は、【クータを付けない場合】参照。



クータの片面（一重の側）に糊をまんべんなく塗って、背に貼る。その上から白紙を当てて、ヘラ

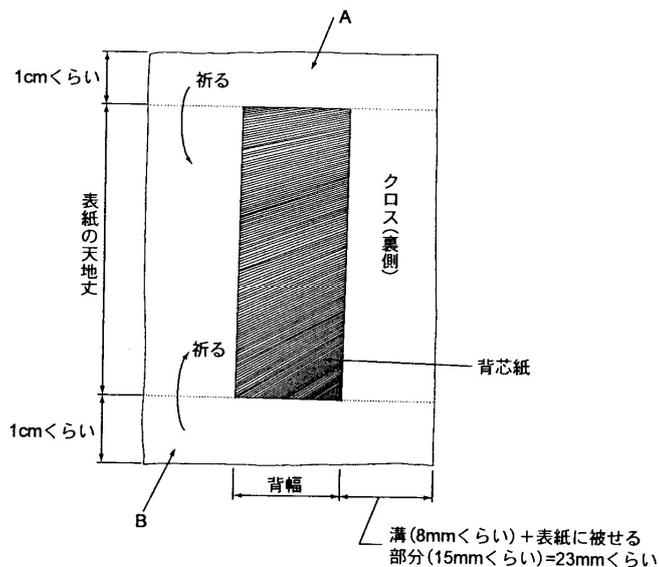
などを使ってよく擦り、背から取れないようにしっかり付ける。その後、よく乾かす。

③新しい背を作る。

新しい背にはクロスを使う。クロスにはいろいろな種類のものがあるが、なるべく補修する本の表紙の素材や色に合ったものを選ぶ。

下図のように、まず背芯紙(地券紙を使うとよい)を糊でクロス(裏側)に貼る。

次に上下A・Bの部分に糊を塗って折り返す。

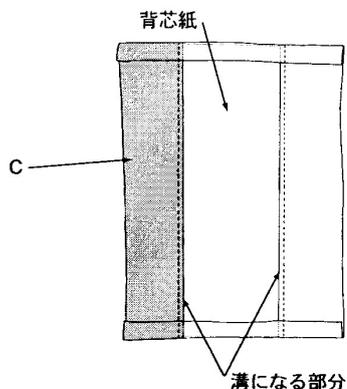


「表紙に被せる部分」の寸法は、表紙に文字や絵などの情報がある場合は、適当に小さくしてよい。

④新しい背を本体に付ける。あらかじめ机の角などを使って、背芯の部分に丸みを付けておくと、後の作業がやりやすい。

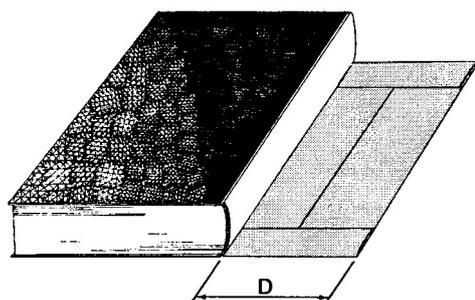
まず、新しい背のCの部分に糊を塗り、表紙の片側に貼る。貼った部分に白紙を当てて、乾いたタオルで上からよく擦っておくと、しっかりと付く。

ヘラを使ったり、編み棒を溝の部分にしっかり当てて、溝をきちんと作る。はみ出た糊は拭き取っておく。



次に、Dの部分に糊を塗り、くるむようにしてもう一方の表紙に貼る。作業の方法は C の部分

の時と同様である。



⑤糊がはみ出て、余分なところが接着することがあるので、表紙と見返し(遊び)の間にシリコン塗布紙を挟んでおく。この状態で上下を板で挟み、重しを載せて1時間ほど乾かす。

⑥元の背を薄く剥がして、新しい背に貼る。



背にはボール紙や地券紙などが芯紙として貼ってある。それをできるだけ取り除き、薄くする。生かしたい部分の方を押さえて、取り除きたい部分を引っ張って剥がしていく。筆や濡れタオルで湿らせて少しずつ取り除いていってもよい。

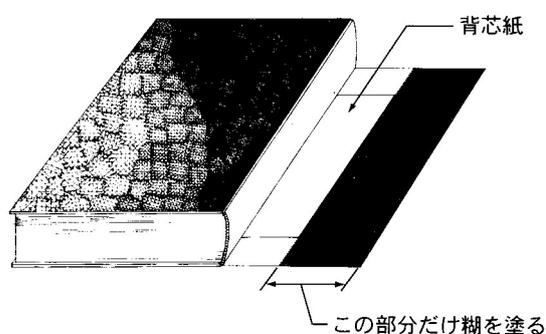
薄くできたら、四方を切り落とす。縁を紙ヤスリで擦ってさらに薄くしておく剥がれにくく、貼った時に段差ができず、仕上りもきれいになる。

薄くなった元の背の裏に糊を塗り、新しい背の上に貼る。

上から白紙を当ててよく擦る。この時、貼った背が動かないように注意する。

【クータを付けない場合】

新しい背をくるむ④の時に、下図のように背芯紙の部分に糊を塗ってはいけない。



【クロスの段差を解消する】

今までの方法では、新しい背のクロスが表紙に被さったところと表紙との間に段差ができてしまう。これが気になるようであれば、新しい背のクロスが被さる部分だけ表紙のクロスを取り除けばよい。ただし、元の表紙のクロスを残す必要がある場合には適用しない。

取り除く部分に定規を当て、カッターナイフで表紙のクロスに切り込みを入れ、外し取る。ただし、新しい背のクロスと表紙のクロスが、重なることなく突きつけでぴったり合うように採寸などに注意しなければならない。

